

## 高嶋 正晴教授 略歴と業績

### I. 略 歴

1969年3月	京都府に生まれる
1991年3月	同志社大学文学部文化学科心理学専攻卒業
1992年4月	立命館大学大学院国際関係研究科国際関係学専攻修士課程入学
1993年6月	アメリカン大学 (The American University) 大学院国際関係研究科国際政治経済学コースへの1年間の交換留学プログラムに参加
1995年3月	立命館大学大学院国際関係研究科国際関係学専攻修士課程修了
1995年4月～1996年3月	立命館大学大学院社会学研究科研修生
1996年4月	立命館大学大学院社会学研究科応用社会学専攻博士後期課程入学
1999年3月	立命館大学大学院社会学研究科応用社会学専攻博士後期課程修了
1999年4月～2003年3月	立命館大学大学院社会学研究科研究生
2003年4月～2007年3月	下関市立大学経済学部助教授
2007年4月～2013年3月	立命館大学産業社会学部准教授
2013年4月	立命館大学産業社会学部教授
2019年7月4日	ご逝去 (享年50歳)

### II. 所属学会

International Studies Association (アメリカ国際関係学会)  
京都グラムシ研究会  
日本国際経済学会  
中四国商経学会  
日本社会政策学会  
日本公共政策学会  
西日本社会学会  
日本 NPO 学会  
地域活性学会

### III. 主な研究業績

#### 著 書

1. (共著)『グローバル化の政治経済学』(櫻井公人・小野塚佳光編著, 晃洋書房, 1998年) 57-80頁
2. (共訳)『国家の退場—グローバル経済の新しい主役たち—』(スーザン・ストレンジ著, 櫻井公人監

- 訳, 岩波書店, 1998年) 16-80頁
3. (共訳) 『マッド・マネー—世紀末のカジノ資本主義—』(スーザン・ストレンジ著, 櫻井公人・櫻井純理・高嶋正晴訳, 岩波書店, 1999年) 141-151・173-220頁
  4. (共著) 『グローバリゼーションの現在』(岩崎正洋・植村秀樹・宮脇昇編, 一藝社, 2000年) 42-58頁
  5. (共訳) 『グローバル化時代の社会学』(ニール・J・スメルサー著, 伊藤武夫・伊藤雅之・高嶋正晴監訳, 晃洋書房, 2002年)
  6. (共訳) 『グローバル化とは何か—文化, 経済, 政治—』(デヴィッド・ヘルド編, 中谷義和監訳, 法律文化社, 2002年) 7-50頁
  7. (共著) 『複数の沖繩—ディアスポラから希望へ—』(西成彦・原毅彦編, 人文書院, 2003年) 301-08頁
  8. (共訳) 『グローバル化をどうとらえるか—ガヴァナンスの新地平—』(D・ヘルド & M・K・アーキブージ編, 中谷義和監訳, 法律文化社, 2004年)
  9. (共訳) 『〈1冊でわかる〉グローバリゼーション』(マンフレッド・ステイーガー著, 櫻井公人・櫻井純理・高嶋正晴訳, 岩波書店, 2005年)
  10. (分担執筆) 「グラムシアン・グローバリズムにみるグラムシの援用とヘゲモニー分析」(グラムシ没後70周年記念シンポジウム実行委員会編, 『グラムシ没後70周年記念シンポジウム文書報告集』, いたりす, 2007年)
  11. (共訳) 『マッド・マネー—カジノ資本主義の現段階—』(スーザン・ストレンジ著, 櫻井公人・櫻井純理・高嶋正晴訳, 岩波書店, 2009年)
  12. (分担執筆) 「グローバル市民社会と世界秩序—ネオ・グラムシアン・アプローチからの一検討—」(篠田武司・西口清勝・松下冽編, 『グローバル化の現代—現状と課題—(第2巻—グローバル化とリージョナリズム—)』, 御茶の水書房, 2009年) 149-175頁
  13. (共訳) 『新版〈1冊でわかる〉グローバリゼーション』(マンフレッド・ステイーガー著, 櫻井公人・櫻井純理・高嶋正晴訳, 岩波書店, 2010年)
  14. (共訳) 『現代マルクス主義のフロンティア』(ロナルド・マンク著, 櫻井公人・高嶋正晴・藤田悟訳, 萌書房, 2010年) 5-12・31-81・167-239頁
  15. (共訳) 『グローバル化時代の市民像—コスモポリタン民主政へ向けて—』(ダニエル・アーキブージ著, 中谷義和監訳, 法律文化社, 2010年) 68-138頁
  16. (共訳) 『国家の退場—グローバル経済の新しい主役たち—』(スーザン・ストレンジ著, 櫻井公人訳, 岩波書店, 2011年) 15-80頁
  17. (共著) 『食と農と里山 vol. 1』(26の手のひらの宇宙・人著, あうん社, 2014年) 123-132頁
  18. (共訳) 『国家: 過去, 現在, 未来』(ポップ・ジェソップ著, 中谷義和・加藤雅俊・進藤兵・高嶋正晴・藤本美貴訳, 御茶の水書房, 2018年) 227-285頁
  19. (分担執筆) 「第13章 大学発の地域産品開発とネットワーク—立命館大学“京北プロジェクト”を事例として—」(中塚雅也編, 『地域固有性の発言による農業・農村の創造』, 筑波書房, 2018年) 161-172頁

## 論 文

1. (単著) 「R. コックスの世界把握の方法について—その『歴史的構造』認識とグローバル・ヘゲモニー論を中心に—」(『立命館産業社会論集』32巻4号, 1997年) 217-230頁

2. (単訳)「フェルナン・ブローデルと国際政治経済学」(エリック・ヘライナー著、『立命館国際地域研究』10号, 立命館大学国際地域研究所, 1997年) 113-129頁
3. (単著)「第1次世界大戦期アメリカにおける戦時産業動員体制の制度的編成」(『立命館産業社会論集』34巻3号, 1998年) 57-76頁
4. (単著)「第1次世界大戦期アメリカにおける石油産業動員体制の構築過程—燃料庁石油局と産業自治の確立—」(『立命館人文科学研究所紀要』73号, 立命館大学人文科学研究所, 1999年) 23-52頁
5. (共訳)「『欲求の体系』としてのグローバル市民社会—国家ではなく, ヘーゲルに立ち返って—(上)」(ニコラス・オナフ著, 伊藤武夫・高嶋正晴訳, 『立命館産業社会論集』35巻3号, 1999年) 65-81頁
6. (共訳)「『欲求の体系』としてのグローバル市民社会—国家ではなく, ヘーゲルに立ち返って—(下)」(ニコラス・オナフ著, 伊藤武夫・高嶋正晴訳, 『立命館産業社会論集』35巻4号, 2000年) 109-120頁
7. (単著)「グラムシアン・グローバリズム—国際関係学におけるグラムシー—」(『京都グラムシ研究会会報』43号, 京都グラムシ研究会, 2001年) 30-34頁
8. (単訳)「独立革命期におけるアメリカ的法人の革命的諸起源(上)」(ポーリン・メイヤー著, 『立命館産業社会論集』36巻4号, 2001年) 161-178頁
9. (単著)「コメント(東琢磨氏の発表「沖縄:うたの偏在する〈場〉への)」(『立命館言語文化研究』13巻1号, 立命館大学国際言語文化研究所, 2001年) 69-71頁
10. (単著)「グラムシアン・グローバリズムの意義について—グローバル・ヘゲモニーとグローバル市民社会—」(『季報 唯物論研究』77号, 大阪唯物論研究会哲学部会, 2001年) 38-45頁
11. (単訳)「独立革命期におけるアメリカ的法人の革命的諸起源(下)」(ポーリン・メイヤー著, 『立命館産業社会論集』37巻2号, 2001年) 153-173頁
12. (単著)「奄美民謡・新民謡のメディア化—その歴史的経緯に関する一覚書として—」(『キョラ』6号, 神戸奄美研究会, まろうど社, 2001年) 99-110頁
13. (単著)「タビする奄美シマウターあるいは奄美シマウタのJポップ化?—」(『ユリイカ』34巻10号, 青土社, 2002年)
14. (単著)「レコードからみる戦前・戦後の奄美〈しまうた〉文化」(『立命館言語文化研究』15巻2号, 立命館大学国際言語文化研究所, 2003年) 163-171頁
15. (単著)「韓国大学生の日本および関門地域に対する観光ニーズ調査結果」(『関門地域研究』13号, 北九州市立大学地域戦略研究所, 2004年) 3-22頁
16. (単著)「グラムシアン・グローバリズムの現段階—グローバル化と反グローバリズム運動をめぐって—」(『季報 唯物論研究』90号, 大阪唯物論研究会哲学部会, 2004年) 49-57頁
17. (単著)「中国・山東省からの関門地域・山口県への団体観光誘致事業について—下関市と山口県の取り組みを中心に—」(『関門地域研究』14号, 北九州市立大学地域戦略研究所, 2005年) 79-98頁
18. (単著)「巻頭言:地域の経済社会の活性化と自治の問いなおし」(『自治研やまぐち』61号, 山口県地方自治研究センター, 2006年) 1頁
19. (単著)「下関港における東アジア国際物流の現状と今後の展望に関する一試論」(『関門地域研究』15号, 北九州市立大学地域戦略研究所, 2006年) 111-131頁

20. (単著)「山口県内における国際観光客の受入れについて—現状、政策、取組—」(『産業文化研究所所報』16号, 下関市立大学附属産業文化研究所, 2006年) 3-24頁
21. (単著)「東アジア経済交流推進機構と関門地域」(『関門地域研究』16号, 北九州市立大学地域戦略研究所, 2007年) 79-97頁
22. (単著)「グラムシアン・グローバリズムの最近の研究状況」(『季報 唯物論研究』101号, 大阪唯物論研究会哲学部会, 2007年) 52-61頁
23. (単著)「山口県の2006年度国際インバウンド観光政策について—姉妹都市・友好都市交流を活用したモニターツアーとグッドウィル・ガイド研修会を中心に—」(『産業文化研究所所報』17号, 下関市立大学附属産業文化研究所, 2008年) 3-13頁
24. (単著)「書評: 松田博 著『グラムシ思想の探究—ヘゲモニー・陣地戦・サバルタン』」(『季報 唯物論研究』104号, 大阪唯物論研究会哲学部会, 2008年) 206-211頁
25. (単著)「山口県の国際インバウンド観光振興の取り組みと展望—東アジア地域交流連携と着地型観光交流地域づくりの取り組み—」(『下関市立大学地域共創センター年報』1号, 下関市立大学地域共創センター, 2009年) 191-217頁
26. (共著)「『京北プロジェクト』の地域づくりと教育づくり—その意義, 到達点, 展望—」(景井充, 『立命館産業社会論集』47巻1号, 2011年) 315-329頁
27. (単著)「グラムシアン・グローバリズムにみる「ポスト現代の君主論」—グローバルな有機的危機と世界秩序変革—」(『季報 唯物論研究』117号, 大阪唯物論研究会哲学部会, 2011年) 106-115頁
28. (単著)「지구시민사회와 세계 질서 (グローバル市民社会と世界秩序)」(『한국사회학연구 (韓国社会学研究)』3号, 中央大学校社会学研究所, 2011年) 1-31頁
29. (単著)「書評: アントニオ・グラムシ 著, 松田博 編訳『グラムシ「獄中ノート」著作集Ⅶ—歴史の周辺にて「サバルタンノート」注解—」(明石書店, 2011年)」(『季報 唯物論研究』118号, 大阪唯物論研究会哲学部会, 2012年) 120-122頁
30. (単著)「『グローバル市民社会年鑑』に関する一覚書」(『立命館産業社会論集』48巻4号, 2013年) 173-188頁
31. (共著)「産社会学震災関連研究助成「東北被災地大学調査」報告」(景井充・坂田謙司・山田大地, 『立命館産業社会論集』48巻4号, 2013年) 173-188頁
32. (共著)「フロンティア・デザイン・フォーラム—『クリエイティブ・ローカル』の時代を拓く—」(景井充・中西典子・藤本美貴他, 『立命館産業社会論集』50巻2号, 2014年) 163-180頁
33. (共著)「第8章 大学の地域連携プロジェクトにみる農山村地域の魅力づくりとシニア活用」(三宅康成・内平隆之他, 『研究調査平成26年度末報告書: 人口減少下の多自然地域の魅力づくりの研究—シニア世代を活用した新たなビジネスの展開—』, 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究調査本部, 2015年) 60-64頁
34. (共著)「第8章 大学の地域連携プロジェクトにみる多自然地域の魅力づくりとシニア活用—地域(ローカル)共通価値の創出(CSV)とプレミアム世代の活躍に向けて—」(三宅康成・内平隆之他, 『研究調査平成27年度末報告書: 人口減少下の多自然地域の魅力づくりの研究—シニア世代を活用した新たなビジネスの展開—』, 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究調査本部, 2016年) 79-89頁

## 研究発表等

1. (単独)「グローバリゼーション研究の現状と課題」(21世紀研究会例会, 2004年2月)
2. (単独)「韓国大学生の日本および関門地域に対する観光ニーズ調査結果」(関門地域共同研究会・成果報告会, 2004年6月)
3. (単独)「関門地域と観光振興」(下関市立大学附属産業文化研究所15周年記念講演報告, 2004年7月)
4. (単独)「グローバリゼーションをめぐる～M・スティーガー『グローバリゼーション』の翻訳にかかわって～」(社会政策学会中四国部会, 於: 県立広島大学・宇品キャンパス, 2005年9月)
5. (単独)「グリーンツーリズム～その現状と展望について～」(NPO 歌野の自然とふれあう会総会, 2006年1月)
6. (単独)「関門地域と東アジア ii) 物流拠点機能の観点から②—国際フェリー航路の意義—」(関門地域共同研究会・成果報告会, 2006年6月)
7. (単独)「古民家活用を通じての地域活性化」(出前市民大学, 於: 下関市歌野清流庵, 2006年10月)
8. (単独)「東アジア経済交流推進機構と関門地域—物流分野の取り組み—」(関門地域共同研究会・成果報告会, 2007年7月)
9. (単独)「親子ラジオについて考える—沖永良部島の例をもとに」(FM わいわい, 2007年9月)
10. (単独)「グローバル市民社会論と公共性～『グローバル市民社会年鑑』をてがかりに～」(「グローバリゼーションと公共性」研究会, 於: 立命館大学衣笠キャンパス, 2007年10月)
11. (共同)「北長門知恵の輪ネットワーク」(逆井健, 中国・地域づくりフォーラム2007, 2007年11月)
12. (単独)「グラムシアン・グローバリズムにみるグラムシの援用とヘゲモニー分析」(グラムシ没後70周年記念シンポジウム, 於: 明治大学駿河台キャンパス, 2007年12月)
13. (単独)「環黄海経済圏構想の現状・課題・展望—自治体主体のミクロ地域主義の意義と可能性—」(グローバル経済危機と東アジア地域協力の展望, 2009年3月)
14. (単独)「地域の課題と活性化」(立命館大阪オフィス講座, 於: 立命館大学大阪オフィス, 2010年12月)
15. (単独)「農山村地域の課題と可能性の観点から考えるフロンティア・デザイン—「先進プロジェクト研究」の成果を踏まえつつ—」(フロンティア・デザイン・フォーラム～「クリエイティブ・ローカル」の時代を拓く～, 於: 立命館大学東京キャンパス, 2013年8月)
16. (単独)「市民の手で 学び×コミュニティ=まちづくり」(第3回 あさご・まちづくりカフェ, 於: 兵庫県朝来市山東公民館, 2013年8月)
17. (単独)「地域プロデューサーと地域づくり」(第1回 丹波市・地域プロデューサー養成講座, 於: 兵庫県丹波市春日住民センター, 2013年11月)
18. (単独)「生涯学習と地域づくり」(丹波市生涯学習基本計画審議会・研修会, 於: 兵庫県丹波市柏原住民センター, 2013年12月)
19. (単独)「空家活用の事例紹介」(ワークショップ「空き家を語ろう, どないしたらええん?」, 福井県おおい町名田庄公民館, 2014年2月)
20. (単独)「グローバル化時代の農を手がかりとした地域活性化, ワークショップ: 私たちの“生水の郷”プロジェクト—モノづくり, コトづくりでチャレンジ!—」(2013年度立命館ネクストリーダープログラム, 於: 今津サンプリッジホテル, 2014年3月)
21. (単独)「立命館大学『京北プロジェクト』による地域活性化の取り組み—『りつまめ納豆』を中心に

- 一」(人口減少下の多自然地域魅力づくり研究会，於：公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター，2014年12月)
22. (単独)「農山村地域の課題と可能性の観点から考えるフロンティア・デザイン―「先進プロジェクト研究」の成果を踏まえつつ―」(第2回フロンティア・デザイン・フォーラム～「クリエイティブ・ローカル」の時代を拓く～，於：立命館大学東京キャンパス，2015年2月)
23. (単独)「地域プロデューサーと地域づくり」(TAMBA 地域づくり大学，於：兵庫県丹波市氷上住民センター，2015年11月)
24. (単独)「地元学・地域力・実践力」(TAMBA 地域づくり大学，於：兵庫県丹波市たんば黎明館，2015年11月)
25. (単独)「地元学・地域力・実践力」(久下自治振興会地域づくりセミナー，於：兵庫県丹波市久下自治会館，2016年5月)
26. (単独)「ふるさとの魅力発見学」(TAMBA 地域づくり大学，於：兵庫県丹波市笛路村交流会館，2016年10月)

#### IV. 社会における活動

2003年4月～2007年3月	関門地域共同研究会 運営委員・専門委員
2004年4月～2007年3月	山口地方自治研究センター 理事
2005年4月～	下関市 国際観光戦略会議 オブザーバー
2005年5月～2007年3月	山口県 観光戦略会議 国際観光部会 委員・部会長
2005年9月～	下関市 外国語観光案内ホームページ作成委員会 オブザーバー
2005年12月～	下関市 観光施設(下関市火の山ユースホテル) 指定管理者選定委員会委員長
2008年10月～2010年3月	向日市 地域活性化会議 委員長
2009年8月～2011年3月	丹波地域資源活性化研究会 委員長
2010年9月～	NPO 法人 北近畿みらい 顧問
2011年8月～2012年2月	第1回 丹波農業グランプリ審査委員会 委員
2012年6月～2016年7月	ふるさと丹波市定住促進会議 委員
2012年11月～2014年3月	第2次丹波市総合計画審議会 委員
2013年1月～2013年2月	第2回 丹波農業グランプリ審査委員会 委員
2013年9月～2015年3月	丹波市生涯学習基本計画審議会 副委員長
2013年11月～	丹波の森公苑運営委員会 委員
2014年7月～	丹波市空き家等対策審議会 委員
2014年12月～2016年3月	NPO 法人 gift (兵庫県丹波市，中間支援 NPO) 副理事長
2015年8月～	たんばコミュニティエフエム番組審議会 委員
2016年1月～2016年12月	『週刊エフエム工務店』(コミュニティエフエム805たんば) パーソナリティ
2016年4月～	NPO 法人 gift (兵庫県丹波市，中間支援 NPO) 理事
2016年7月～	丹波市まなびの里づくり協議会

以上